

# 阿波市地球温暖化対策実行計画（第2次区域施策編）【概要版】

## 1 基本的事項

### ■ 計画改定の背景及び目的

本市では、2019年3月に「阿波市地球温暖化対策実行計画（第1次区域施策編）」を策定し、地球温暖化対策に取り組んできました。昨今、世界中で地球温暖化による影響が生じており、日本においても平均気温の上昇や大雨等の影響が報告されています。



また、国や県においては、新たな温室効果ガス排出量削減目標が掲げられるなど、地球温暖化対策に係る国内外の移り変わりを踏まえ、市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化対策を進めていくため、「阿波市地球温暖化対策実行計画（第2次区域施策編）」を策定しました。

### ■ 阿波市地球温暖化対策実行計画（第2次区域施策編）とは

本計画は、市域内の温室効果ガス排出量削減に向けた目標や施策を示し、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく温室効果ガス排出量の削減等を推進するための総合的な計画です。

#### ・地球温暖化対策の推進に関する法律

「地球温暖化対策の推進」や「現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保」等が目的とされている法律



#### ・阿波市地球温暖化対策実行計画（第2次区域施策編）

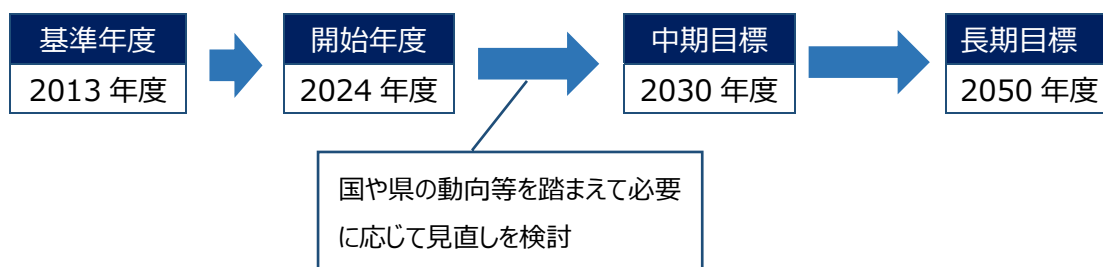
策定が努力義務

### ■ 対象とする温室効果ガス

「地球温暖化対策の推進に関する法律」で定められている温室効果ガスのうち、日本ではCO<sub>2</sub>が全体の排出量の9割以上を占めていること、市民や事業者の取組によって削減が可能であるため、CO<sub>2</sub>のみを対象とします。

### ■ 計画期間

本計画の計画期間は、2024年度から2030年度までとします。



## ■ 阿波市のこれまでの取組

本市では地球温暖化対策に係る取組として、公用車にプラグインハイブリッド自動車（PHV）の導入や地産地消の取組として、Awa産Our消Myメニューコンクールの実施、市庁舎への太陽光発電の導入等を進めています。



公用車（PHV）

### 第8回「Awa産Our消Myメニュー」コンクール

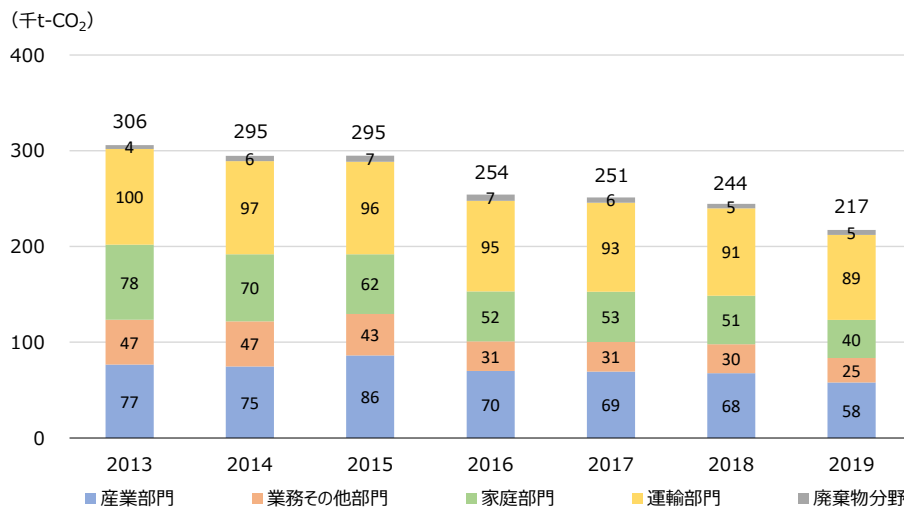


Awa産Our消Myメニューコンクールの金銀銅賞メニュー

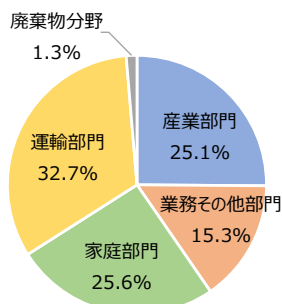
## 2 温室効果ガス排出量

### ■ 温室効果ガス排出量の現況推計結果

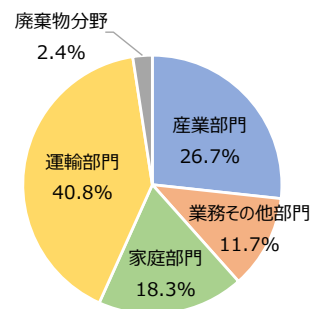
本市の温室効果ガス排出量は、現状年度（2019年度）時点で217千t-CO<sub>2</sub>となっており、基準年度（2013年度）以降減少傾向で推移しています。また、部門・分野別の排出構成を基準年度（2013年度）と現状年度（2019年度）と比較すると、運輸部門及び産業部門の割合が増加している状況にあるとともに、本市は運輸部門に占める排出割合が高いことが特徴となっています。



温室効果ガス排出量の推移



基準年度（2013年度）の部門・分野別の排出構成



現状年度（2019年度）の部門・分野別の排出構成

### ■ 温室効果ガス排出量の将来推計について

温室効果ガス排出量の将来推計は、現状から追加的な対策を行わないまま推移した場合の「現状維持ケース」と、追加的な対策を実施した場合の「対策実施ケース」の2ケースで、中期目標年度（2030年度）を対象に行いました。推計結果については、以下に示すとおりです。

現状維持ケース及び対策実施ケースの将来推計結果

区分	内容
現状維持ケース	中期目標年度（2030年度）： 225千t-CO <sub>2</sub> （現状年度（2019年度）比3.4%増加）
対策実施ケース	中期目標年度（2030年度）： 150千t-CO <sub>2</sub> （基準年度（2013年度）比50.8%減少）

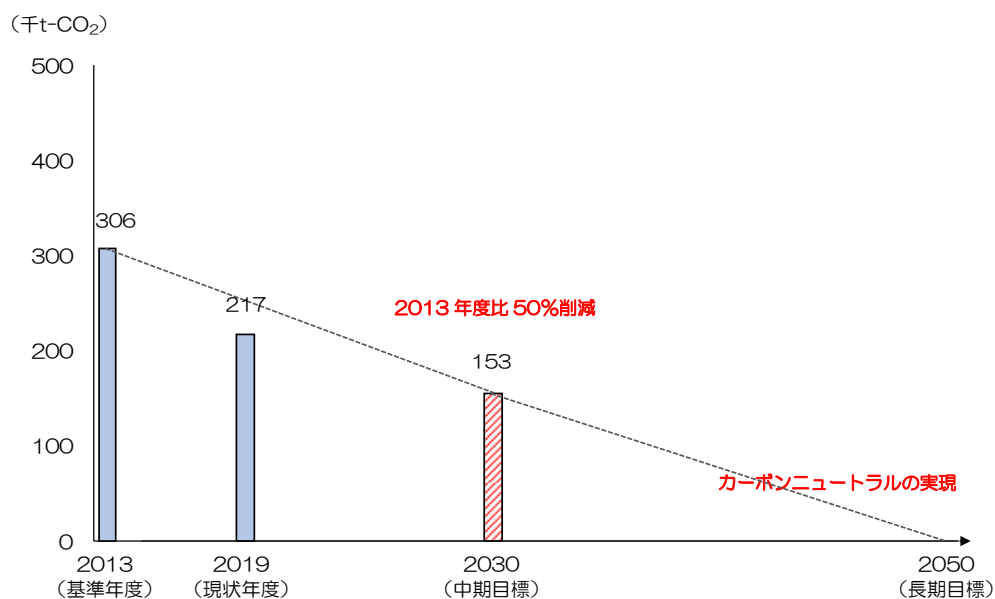
## 3 温室効果ガス排出量削減目標

### ■ 温室効果ガス排出量削減目標の設定

本市における温室効果ガス排出量削減目標は、国や県の目標や対策実施ケースでの将来推計を踏まえて、以下のとおり設定しました。

本市における温室効果ガス排出量削減目標

中期目標 （2030年度）	温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で50%削減 （基準年度:306千t-CO <sub>2</sub> ▶中期目標年度:153千t-CO <sub>2</sub> ）
長期目標 （2050年度）	2050年度にカーボンニュートラルの実現 （基準年度:306千t-CO <sub>2</sub> ▶長期目標年度:0t-CO <sub>2</sub> ）



温室効果ガス排出量削減目標のイメージ

## 4 目標達成に向けた具体的施策

### ■ 施策体系

本市では、6つの施策方針を基とした以下の各施策に取り組んでいきます。

施策方針	施策	関連するSDGs
<b>施策方針1</b> 省エネルギー対策の推進	(1) 市民・事業者の省エネルギー行動の拡大 (2) 住宅・建築物等の脱炭素化	  
<b>施策方針2</b> 再生可能エネルギーの導入推進	(1) 太陽光発電の導入拡大 (2) バイオマス利活用の検討 (3) 太陽熱・地中熱利用の導入促進 (4) 水素利活用の普及促進	   
<b>施策方針3</b> 循環型社会の形成	(1) ごみの発生抑制・再資源化の推進	  
<b>施策方針4</b> 環境に配慮したまちづくりの推進	(1) 交通分野における脱炭素化の推進 (2) 緑化の推進 (3) 森林等の保全・育成・活用 (4) フロン対策の推進 (5) 雨水の利用促進	   
<b>施策方針5</b> 環境教育、連携の推進	(1) 環境教育の推進 (2) 様々な主体との連携の推進	  
<b>施策方針6</b> 気候変動影響への適応	(1) 適応策の推進	  

## ■取組内容

### 施策方針 1 省エネルギー対策の推進

#### (1) 市民・事業者の省エネルギー行動の拡大

・脱炭素ライフスタイル・ビジネススタイルの転換に向けた普及啓発	
・事業活動における環境配慮行動の普及啓発	・環境家計簿の普及促進
・農林水産物の地産地消の推進	・スマート農業の推進

#### (2) 住宅・建築物等の脱炭素化

・公共施設の省エネルギー化の推進	・ZEH・ZEB の導入促進
・HEMS・BEMS の導入促進	・省エネルギー設備・機器の導入促進
・住宅・建築物の断熱化の普及促進	・照明の LED 化の推進

### 施策方針 2 再生可能エネルギーの導入推進

#### (1) 太陽光発電の導入拡大

・公共施設における PPA 等を活用した太陽光発電の導入拡大	
・太陽光発電の普及促進	・農業施設への太陽光発電の導入検討
・地域と共生した太陽光発電事業の推進	・再生可能エネルギー由来の電力の普及促進

#### (2) バイオマス利活用の検討

・木質バイオマス利活用の検討	・バイオディーゼル燃料（BDF）の活用検討
----------------	-----------------------

#### (3) 太陽熱・地中熱利用の導入促進

・太陽熱及び地中熱利用の導入促進
------------------

#### (4) 水素利活用の普及促進

・水素エネルギーの普及促進	・燃料電池の普及促進
・燃料電池自動車の導入に向けた普及促進	

### 施策方針 3 循環型社会の形成

#### (1) ごみの発生抑制・再資源化の推進

・4R 運動の推進	・リサイクルの徹底に向けた普及啓発
・生ごみ、食品ロスの削減に向けた普及啓発	
・ワンウェイプラスチックごみの削減に向けた普及啓発	
・中央広域環境施設組合のごみ燃料化施設での廃棄物の資源化推進	
・環境配慮型製品の購入・使用促進	

## 施策方針 4 環境に配慮したまちづくりの推進

### (1) 交通分野における脱炭素化の推進

・公用車への次世代自動車の導入推進	
・次世代自動車の普及に向けた充電インフラの拡充	
・ゼロカーボンドライブの普及促進	・エコドライブの普及啓発
・デマンド型乗合交通あわめぐりの利用促進	・徒歩及び自転車の利用促進
・宅配便再配達削減に向けた普及啓発	

### (2) 緑化の推進

・公共施設における緑化の推進	・緑のカーテンの普及促進
・緑のまちづくりの推進	

### (3) 森林等の保全・育成・活用

・森林整備の推進	・木材の利用促進
・ため池の適正な管理・保全の推進	

### (4) フロン対策の推進

・フロン対策の普及啓発	・フロン類を使用した機器の適正管理の推進
-------------	----------------------

### (5) 雨水の利用促進

・雨水の利用促進	・公共施設における雨水の利用
・雨水浸透設備の設置促進	

## 施策方針 5 環境教育・連携の推進

### (1) 環境教育の推進

・環境学習の実施	・市職員の環境に関するセミナー等への参加促進
----------	------------------------

### (2) 様々な主体との連携の推進

・様々な主体との連携可能性の検討
------------------

## 施策方針 6 気候変動影響への適応

### (1) 適応策の推進

・気候変動影響への適応に関する普及啓発	・自然災害に係る適応策
・健康に係る適応策	・産業・経済活動に係る適応策
・市民生活・都市生活に係る適応策	